ビャクジュツ末

生薬の性状の項を次のように改める.

生薬の性状 本品は淡褐色～黄褐色を呈し，特異なにおいがあり，味はわずかに苦いか，初めわずかに甘く，後わずかに苦い.

本品を鏡検〈*5.01*〉するとき，主として柔細胞，イヌリンの結晶，シュウ酸カルシウムの小針晶を含む柔細胞の破片を認め，更に淡黄色の厚壁繊維の破片，石細胞の破片，コルク組織の破片，少数の網紋及び階紋道管の破片，黄褐色の分泌物の小塊又は油滴を認め，でんぷん粒は認めない.